



社会教育便り

幡多地区文化財連絡協議会研修会

11月27日 四万十市西土佐の旧口屋内小学校で、幡多地区文化財連絡協議会の総会・研修会がありました。この会は、幡多地区市町村文化財保護審議会委員及び文化財担当者が一堂に会し、情報交換や現地研修等を行い、文化財についての認識を深めることによって、その資質の向上に資することを目的としています。以下の内容で研修を行いました。

「黒尊での取り組み」～自然環境を活かした地域活動～	田辺 義武 氏
「黒尊川の漁具」～民具として今も利用される漁具～	渡辺 幸寿 氏
「口屋内の景観」～黒尊川流域の暮らしの景観～	池上 篤男 氏
「生業と景観の文化財的保存」～暮らしの景観をどう継承するか～	川村 慎也 氏



渡辺様より、実際に黒尊川で使われていた漁具を見せながら、紹介していただきました。上の写真は、その一例です。

6市町村から29名に参加していただき、熱のこもった研修会になりました。



田辺様より、歩道や遊歩道の整備、地域の一斉清掃での意識の高まりがマナーアップにつながっていることや黒尊手帳等についてお話していただきました。

池上様より、映像を入れながら、ユーモアたっぷりの話で口屋内のことを教えていただきました。木炭や木材を運ぶ様子を帆掛舟、荷馬車、筏、ガソリン機関車などの絵を提示しながら説明していただきました。筏にした木材に乗り、黒尊川、四万十川とくだった後、帰りは、下田から歩いて帰っていたとか。昔は大変だったのですね。

詳しい取組内容について知りたい場合は、西部教育事務所 社会教育担当（岡崎・威能）まで
(TEL 0880-34-0866) ご連絡ください。